



# 林 声

2017

3 月号



江与味製材株式会社（久米郡美咲町）の難波高明（なんば たかあき）さんは、地元のヒノキやスギを中心に様々な製材品を生産され、国内販売は元より海外へも積極的に製材品を輸出されています。また、地域林業のリーダーとしても日々活躍されています。（詳細はP 2に記載）

## 目 次

岡山・森林列伝	お知らせ（県関係）	10
（江与味製材株式会社 難波高明さん）	技能講習会	11
がんばる認定事業体（有限会社 杉産業）	林産物市況	12
普及指導区の情報（高梁支部）	事務局からのお知らせ	14
ニューフェイスです（松原瑞浦さん）		
教えて先輩！（田中晃さん）		
事業紹介（研修事業の成果）		
研究だより（森林研究所林業研究室）		
林務の職場（新見市産業部農林課）		



おかやま森の大使

## 岡山・森林列伝

【津山普及指導区】

### 一 はじめに

今回は江与味製材材(株)（久米郡美咲町江与味）常務 難波高明さん（42歳）をご紹介します。



### 二 会社の概要

江与味製材は大澤芳郎氏が昭和10年に創業し、約80年の歴史があります。現在は、高明さんの父の芳英氏が三代目社長として経営され、製材業だけでなく素材生産業も行っています。（江与味製材HP <http://eyomisenzai.com>）

### 三 会社を継ぐ

高明さんは、江与味製材の常務として活躍されており、次期4代目社長として期待されています。しかし、本人はこのような形で会社を継ぐことは考えていなかったとのことでした。

大学卒業後は、地元の町役場に就職されました。しかし、家業（林家）の関係もあり、会社を継ぐことにはしないにしても、40歳を迎えた時には役場を退職して、林業で生活したいと考えられていたそうです。ところが、会社を継がれる予定だった御兄様が亡くなられたことで、自分が後を継ぐことを決心され、今に至るとのことでした。

### 四 経営者として

常務として多忙で困難な日々を送られ、毎日が勉強とのこと。入社して4年間で学んだ重要なことは、従業員との信頼関係を築くことだそうです。

「経営者として会社の利益を考える必要があります、そのためには従業員に効率よく働いてもらわなければいけない。しかし、生産性が下がった場合、従業員を頭ごなしに



注意するだけでは改善は難しく、従業員それぞれの考え方や感性があるの、それに応じた方法で接し、一緒に

問題を解決していく事が重要」と入社した当時は振り返りながら語られていました。

### 五 今後の取組・目標

地元には大変お世話になったので、その恩返しという意味で地域の活用や雇用の拡大など、次の三点が重要と考えています。

まず一点目は、曲材などの利用拡大です。価値の低い材の需要を高めることで、価格の底値を上げ、山主が材を出したくなるようになります。その材を活用できるCLT等（ラミナ材）が普及すれば、さらに山主に利益が還元できると思っています。



一日林業体験の参加者に製材工程の説明

二点目は、海外輸出の拡大です。韓国では、健康志向の広がりにより、ヒノキを求める人が増えています。このため、製材の方法によっては以前の16倍の製材品を輸出するものもあります。また、韓国だけではなく、中国や台湾でもヒノキの人気が高まってきているので、今が好機と考えています。

三点目は、地域で林業大学校のようなものを作れたらと考えています。この地域は製材や素材生産、種苗生産などが盛んな上、町の移住・定住者への受け入れ体制は整っているため、林業就業希望者が林業の基礎を学ぶ地域としてふさわしいと思います。

### 六 おわりに

取材を終えて、林業に対する知見が非常に深い方だと改めて感じるとともに、林業サイクルの重要性を踏まえ、その実現のために種苗の生産や海外輸出などを推進し、従業員をしっかりと気にかける姿は林業・林産業経営者としてとても頼もしく思いました。

津山普及指導区では、難波高明氏が地域のリーダーとして益々活躍していただけるよう支援をしていきたいと思っています。

（林業普及指導員 長畑 弘道）



がんばる認定事業体  
有限会社 杉産業

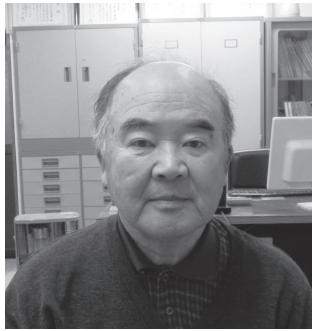
【新見普及指導区】



一 はじめに

「有限会社杉産業」は、岡山県天然記念物「井倉洞」がある新見市南部の井倉に事務所を置き、新見地域を中心に素材生産を手がけています。

代表取締役の杉修次さん（67歳）を訪ね、会社概要や活動内容について、お話を伺いました。



二 有限会社杉産業の概要

(有)杉産業は、杉社長がそれまで木炭や薪、造林を手がけていた先代の会社を継ぐ形で昭和48年に興されました。当初は前会社が製紙会社から委託された松林の造林地での保育作業などが中心でしたが、木炭や薪の需要が少なくなってきたこともあり、昭和60年頃から育

林と素材生産へシフトし、現在は搬出間伐や皆伐を中心に森林所有者からの作業を受託しています。

三 事業活動の概要

現場作業員は、本年度採用した5名を含む計13名の2班体制で私有林を中心に、公社造林地等で請負作業を実施しています。

近年は、伐期を迎えた森林所有者へ間伐を呼びかける機会が増加しており、その折には、皆伐の依頼やそれを機に隣接する森林所有者からも伐採の相談が多くなっています。皆伐の依頼を受けたときには、適正に森林が更新されるよう、皆伐後の再造林についても施業提案を行うように心がけておられます。

また、生産性の向上と労働条件の改善を進めるために平成元年頃から林業機械の導入を積極的に行いました。近年はハーベスタ、フォワーダ、スイングヤーダなど高性能林業機械も補助事業を活用して順次、導入を進めています。素材生産量は、平成27年度で約6,700立方メートル、本年度は、前年度の2倍の生産を見込んでいます。さらに、現場作業員の労働安全

の向上のため、毎日始業時、終業時の事務所ミーティングで、その日の作業についての安全点検・報告を社員全員で共有し安全意識の高揚を図っています。

四 今後の事業展開について



伐倒・造材  
(新見市上熊谷地内の施行地)

今後とも森林所有者との密接な関係を保ちながら、適正な森林整備が図られるように素材生産量の拡大と再造林の促進に取り組んでい

きたいとのことでした。また、杉社長は新見地区木材組合の会長も努め、長男の光太郎さんも新見市林業担い手対策協議会の委員として、担い手の確保等、地域林業の発展を意識した取組も行われています。



杉社長（前列右から3人目）と従業員の皆様

五 おわりに

(有)杉産業には、イターンで若い担い手も集まり活気を感じます。新見普及指導区としても地域林業の活性化のため、益々活躍していただけるよう支援に努めていきます。  
(林業普及指導員 本田 尊大)

「風ぐるまフェスタ」での  
森林・林業PR活動  
〔高梁普及指導区〕



一 はじめに

高梁市有漢地域では、平成8年の岡山自動車道の開通を契機に「交流」をテーマとして「風を集め、風を起こすまちづくり」を展開しています。

その象徴的なイベントとして、太平洋から日本海まで高速道路でつながった南北の交流をテーマに「風ぐるまフェスタ」が毎年開催され、本年度は、平成28年10月30日(日)に開催されました。

当普及指導区は、毎年このイベントに参加し、森林・林業のPR活動を実施していますので、その取り組みについてご紹介します。

二 事前準備

イベントの約1ヶ月前から林業普及指導員が山に入り、松ぼっくりやドングリ等の木の实、小物づくりのため、コナラ、ヤマザクラ、シラカシ、ソヨゴなどの木片を集めました。また、ナイフで削り色

づけをする鉛筆型のキーホルダーづくりのための小枝の採取等を行いました。

特に、木片を使ったキーホルダーの作成では、直径3〜10センチの太さの物を用意しました。併せて、リース等の見本も制作しました。

三 実施状況

参加者への指導にあたっては、鋸・ナイフなど刃物の取扱に細心の注意を払いました。また、電動工具は、林業普及指導員が使用するなど、安全面には十分配慮を行いました。

木工体験では、開始と同時に子供達がブースに駆け寄り、見本を見た参加者は、「これかわいい。どうやって作るの?」「一緒に作って。」などと言ってきて、指導をすると一生懸命作品を制作していました。また、家族連れで来場した参加者は「何を作る?」「ここ押さえて。」などと和気あいあいに制作していました。

今回の木工体験で特に人気が高かったのが、松ぼっくりを使ったリースづくりです。我々が普段見ても見ている松ぼっくりですが、

リースづくりには必要とされる原材料のひとつです。ネットでもこれを販売されているようです。

今後は、松ぼっくりが里山林のお宝のひとつとして扱われるようになるかもしれません。

作業の合間の会話の中で、「自然を守るためには木を切らない方が良いのではないか。」「樹木を伐採



松ぼっくりを用いたリース

する行為が自然破壊につながるのではないか。」といった声もあったため、岡山県が作成した「もっと知りたい岡山の森林」を用いて、人の手によって植栽された人工林では、森林を守るためには、間伐などの伐採が必要であることや、材価の低迷などにより放置された人工林が多く、まだまだ手入れが必要ことなどを説明しました。

四 次年度に向けて

今回使用した木片は、約1ヶ月前に伐採した木を輪切りにしたものを使用したため、割れが発生しているものがありました。このため、次回の開催に備え、昨年12月に伐採した木をすでに乾燥してい



木工体験の状況

ます。

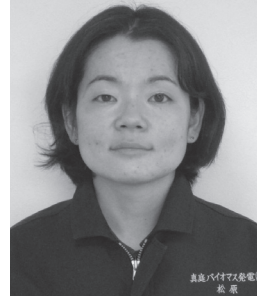
このイベントを通じて、森林・林業のPRを行うと共に、一般の方々の森林に対する想いなどの情報を聞くことができるので、今後活動も継続していきたいと思えます。

(林業普及指導員 内田 直人)



特集 『ニューフェイスです』

真庭バイオマス発電所  
松原 瑞浦さん (36歳)



平成27年3月から真庭バイオマス発電所に勤務されている松原さんにお話を伺いました。

一 経歴

私は東京都葛飾区で生まれ育ち、現在は真庭市内に住んでいます。真庭バイオマス発電所に就職する前は、西島製作所というポンプを製造している会社の研究開発部に6年勤めていました。

昔から自然エネルギー活用に興味があり、特に東日本大震災の後には、その気持ちがより一層強くなりました。前の会社では地熱発電や水力発電用のポンプも製造しており、その部署への異動を希望しましたが叶いませんでした。

そんな時出会った「里山資本主義」という本に、真庭市の取り組みについて書かれており、興味を

持つて調べてみたところバイオマスツアアの存在を知り、参加を決めました。

ツアー参加時に今後スタートする発電所が職員を募集していることを知り、すぐに履歴書を送付して、採用していただき今に至りません。

水と空気のきれいな田舎でのんびりと暮らしたいという目的も達成でき、地域の活性化にもつながる今の仕事にやりがいを感じています。

二 仕事の内容

真庭バイオマス発電所は、作業員10名と私を含む事務5名で運営しています。

私は主に見学者の案内や経理など、総務的な仕事に携わっています。特に見学対応では、自らの地域に発電所を造りたいという自治体関係者や、同業の発電事業者の方たちなど、昨年はおよそ2,000人もの方が訪れ、忙しい毎日です。

また、発電所の修理に必要な部品の発注をしたり、人手が足りない時には、コントロールルームでの計器の監視をすることもあります。

今は総務的な仕事の比率が大きいのですが、元々技術職なので、ボイラーや発電機等については、これから徐々に学び、少しでもお役に立てればと思っています。



真庭バイオマス発電所

三 今後は

① 固定価格買取制度の期間内(20年間)は着実に売電を頑張ります。  
② 今は、順調に燃料が集まっていますので、安定的に供給が続くよう業者の方と良好な関係を築きたいです。  
③ 発電所ができたことで、山にも

お金が落ちるようになりましたが、発電所だけでなく、さらに、林業が潤うように、何か役に立てることがあればと勉強中です。

発電所やCLT工場など川下の整備は進みつつあるので、川上の林業も活性化し、うまく循環するように、何か出来ることがあればと考えています。



発電施設

四 おわりに

取材当日はお忙しい中、明るく、快く取材に応じていただきました、松原さんの今後益々のご活躍を期待しています。

(林業普及指導員 馬場 宏治)

特集

『教えて先輩!』

備中南森林組合(総社支所)

田中 晃さん(47歳)

今月の「教えて先輩!」では、備中南森林組合の作業班員、田中晃さんをご紹介します。



備中南森林組合(総社支所) 田中晃さん

一 経歴

田中さんのご出身は徳島県。元のケーキ屋でパティシエをされた後、千葉県のテーマパークやホテルでの接客関係業務、その後、香川県でもテーマパーク関係の仕事をするなど、元々は山や林業とはあまり縁のない生活だったそうです。

その後、香川県内で造園関係の仕事に転職、岡山県での就職を考へて参加した林業就職ガイダンスがきっかけとなり、平成14年に当時の総社市森林組合作業班に採用されました。

二 仕事内容

森林組合に入ってからは一貫して現場作業を担当し、時期に応じて、伐採、下刈り、植林、間伐など、総社市周辺の山を中心に、時には県北でも作業をされています。

仕事についての感想を伺ったところ、全く違う業界から転職されたという立場から、正直なところ、きついこともあるし、常に危険が隣り合わせだと感じている。との率直なお答えが返ってきました。

暑さや寒さ、雨などの気象条件、足場の悪いところで刃物や機械を扱うという作業環境など、大変なことが多い現場の仕事ですが、間伐後にきれいになった山を見たり、下刈りの時、草に覆われていた苗木を見つけて成長を感じたりと、やってきたことの成果が目に見えた時には、仕事へのやりがいや手応えが感じられるとのことでした。



追い口を入れる前に伐倒方向を確認

三 後輩へ

県南部の森林組合の支所に務められているので、新人や若い人と一緒になることはあまりないようですが、仕事に当たって心がけていることを伺いました。

「何よりも重要なのは、安全の確保です。日頃から道具の手入れをきちんと行い、刃物は常によく切れる状態にしておくこと。伐倒作業の際は、足場の確保、伐倒方向の確認、周辺の障害物を予め取り除き、待避ルートの確保なども段取りしておくことが必要である。」とのことでした。

また、先輩の仕事を手本にしな

がら、自分の経験値を上げていくことが、良い仕事につながるのではないかとのことでした。

四 今後は

林業や山の手入れという仕事については、自然環境など面からもなくはないと思う一方で、県南部の山では、伐倒木を搬出する機会がなく、せつかく育った木を無駄にしていると感ずることもありますが、伐倒した木を山から持ち出し、有効に利用する取り組みがでないか。といったことも考えていると伺いました。

五 おわりに

今回の取材では、広葉樹の伐採作業をされている現場でお話を伺いました。

作業の手を止めて、快く取材に応じてくださった田中さん、お忙しいところ、いろいろとありがとうございました。これからもお気を付けて、安全にお仕事を続けてください。

(林業普及指導員 鈴木 理恵)



# 「平成28年度研修事業の成果について」

岡山県農林水産総合センター（普及連携部普及推進課林業普及推進班）では、平成28年度、高校生へのインターンシップ研修や森林作業道を作設するオペレーター、森林組合等の新規就業者のほか県の林業普及指導員等を対象とした研修を65日開催し、延べ800名超の参加をいただきました。

今回は、その中で、おかやまの森林・林業を支える担い手対策に関わる研修を中心に、その成果をご紹介します。

## 一 高性能林業機械現地研修

林業への就業促進を図るためのインターンシップとして、県立勝間田高校など林業関係学科の高校生を中心に、チェーンソーによる伐倒からハーベスタ等の高性能林業機械操作などの林業に関する体験学習を行いました。

参加者からは、「貴重な体験ができた。就職を考える上で参考になる。」などのほか、「林業で起業を考えている」といった非常に力強い意見も聞かれ、来年度への期待

を新たにしたところです。



勝間田高校2年生の研修

## 二 緑の雇用現場技能者育成研修

現場技能者の育成を図るため、（公財）岡山県林業振興基金から講師依頼を受けて実施しました。

新規就業後1～3年の方を対象に各レベルに応じた研修を行い、林業に必要な専門的な知識・技術



緑の雇用現場技能者育成研修

を習得していただき、3年生12名が無事卒業されました。

## 三 森林作業道作設オペレーター育成研修（基礎～指導者育成）

丈夫で繰り返し使用可能な森林作業道づくりに取り組もうとしている林業事業者等の方を対象に、道づくりに必要な知識や施工技術を習得していただきました。



森林作業道作設オペレーター育成研修

基礎研修では、路線計画、踏査選点、支障木の伐倒処理、基礎土工を、また、応用研修では、応用土工として曲線設定（S字カーブ）を重点的に学びました。

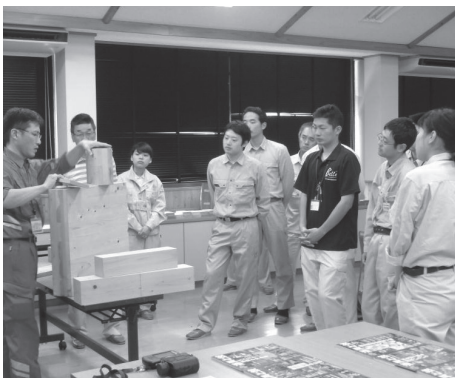
また、指導的立場の人材を育成するための指導者育成研修では、より高度な作設技術の習得はもとより、分かりやすい説明方法や指導方法などについて学びました。

外部講師をお願いしている経営者の方々も指導者と受講者の枠を超え、教えたり教えられたりする中で共に成長していくという真摯な気持ちで接していただき、本当に感謝しています。

## 四 林業普及指導員等研修

県の林業普及指導員や市町村職員などが、本県の森林・林業行政を推進するうえで必要となる資質の向上が目的です。

内容は多岐にわたっており、専門分野別研修は、14講座を開催し約百名の参加をいただきました。



林業普及指導員新任者研修

平成29年度も、研修内容の更なる充実に努めて参ります。

（普及推進課 林業普及推進班）

「ヒノキ人工林等における  
列状間伐後の管理技術」  
はじめに

一 はじめに

平成26年8月、広島県で発生した大規模土砂災害は、まだ記憶に新しいことと思います。同地域が風化した花崗岩であったことから、表層崩壊が土石流となり、それが流下する過程で、渓流域を激しく侵食し、被害が拡大したことが明らかになっていきます。また、同地域の上流部には人工林が存在しており、この災害を教訓として、人工林を含め、森林をいかに適正に管理していくかが大きく問われてきています。

そこで、当研究所では、自然力を活用し、針広混交林化を目的とした人工林の管理技術について調査・研究を進めてきました。その中で、特に、列状間伐後、伐開部分の林床植生に関する成果について、その一部をご紹介します。

二 研究の成果

【伐開幅の確保】

列状間伐実施後、5〜7年が経

過したヒノキ人工林において、斜面傾斜、残存木の樹高、伐開幅、残存幅、ササ類の有無といった要因を用いて、実際に、伐採方法別に、林床の木本類の植被率を推測しました。その結果、2残1伐（伐開幅約3.6m）から4残2伐（同約5.2m）に伐開幅を拡大することにより、木本類植被率は15割以上増加することが明らかになりました（図1）。現状の間伐率上限を考慮すると、伐採方法として、4残2伐がより現実的で有効な方法であろうと推測されます。

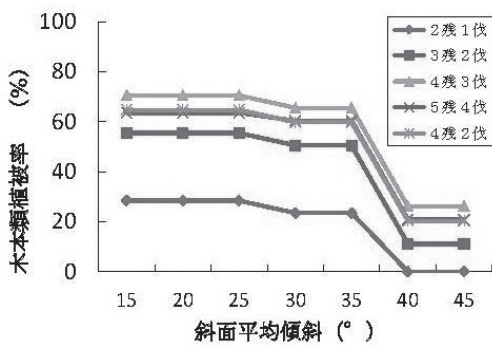


図1 伐採方法別・斜面傾斜別木本類植被率の推移

【伐採順】

伐採順序としては、1回目の間

伐は列状、2回目・3回目は定性の順に施業を行い、木と木の間隔をできるだけ空けることにより、光環境を改善して林床に木本類が侵入・定着しやすい環境整備を進めていくとともに、主林木の立木密度を下げ、主林木自体の樹冠が大きく広がる状態（根が広く広がる状態）を作っていく必要があります。その結果、主林木及び広葉樹等により、土壌緊縛力を高めることができると考えています。

【斜面傾斜への対応】

図1からも明らかのように、斜面傾斜が35度を超えると、木本類の植被率はいずれの伐採方法でも急激に低下することが明らかになりました。同傾斜に達すると、林床の表土が流亡することが既に知られており、下層植生が定着できないことが裏付けられました。このような林分においては、柵工等の土留工対策を適宜、実施していく必要があると思います。

【林床に導入すべき植生】

列状間伐実施地において、草本類、低木〜高木性樹種というように、各階層に植物が安定的に定着することが理想ですが、シカ被害

対策を考慮すれば、非嗜好植物として、「ミツマタ」も一つの選択肢として考えられます。実際に、県内で林床に群生している事例が既に確認されていることから（写真）、ヒノキ人工林でも、特に谷部においては導入に適した樹種であると思います。

三 おわりに

今回の結果は、ヒノキ人工林、そして列状間伐実施といった条件下で、その後の管理方法をご紹介しますが、このことは定性間伐主体の施行地でも、残存木間距離、斜面傾斜等の対応については、今回の知見を生かしていただけだと思います。



写真 ミツマタが林床に群生している事例

（森林研究所

専門研究員 西山 嘉寛）



『新見市産業部農林課・  
林業振興係』



一 はじめに

新見市は岡山県の西北端に位置し、総面積の86%を森林が占めており、その内の60%に当たる40千haが人工林となっています。県下でも随一の人工林面積を有していますが、木材価格の低迷、担い手不足等により、間伐等の森林整備が十分に行われず放置された山林の増加が課題となっています。

こうした中、新見市では豊富な森林資源を適正に保全管理、活用することで林業の活性化が図られるように様々な施策に取り組んでいます。

二 取組状況

今年度より、適正な施業が行われていない小規模な森林の情報を集約し、森林所有者と自伐型林家の双方を繋ぎ合わせることを目的に森林施業コーディネーターを新たに配置しました。自伐型林家へ活動の場を提供し、小規模林業機械のみの低投資で行う自伐型林業を、新見市における森林施業の新

たな方法の一つとして、推進・研究に取り組んでいます。

また、民間事業者によるバイオマス発電施設の設置計画が進んでいることから、素材生産事業者、製材所をはじめ林業関係団体で組織する『新見市循環型木質バイオマス活用推進協議会』（会長 杉修次）において発電施設への安定的な燃料供給に向けた協議が開始されるなど、気運が高まっています。

農林課でも、貴重な資源である森林を有効に活用する好機ととらえ、間伐等森林整備の促進、林業担い手確保・育成、地元産材の利活用促進、未利用材の有効活用を図ることで、林業の活性化、地域内で森林資源が循環できる仕組みづくりに取り組んでいます。

三 スタッフ紹介

農林課林業振興係は、係長以下職員5名、臨時職員1名、森林施業コーディネーター1名の計7名で、新見市の美しい森林を次世代に残せるようにがんばっていきたくと思います。

（新見市農林課林業振興係

主任 福田光二）

優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造元 森産業株式会社

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104  
TEL 岡山(086)805-7033(代)

木を通して環境保全に貢献しています



公園修景施設・土木用資材

防腐処理・ログハウス・デッキ

さんもく工業株式会社

〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号  
TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130

—— 安全・人と自然・調和 ——

造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕 コニファー水和剤 〔幼令樹保護カバー〕 くわんたい  
〔樹皮食い防止に〕 バークガード 〔野生草食獣食害防止〕 防獣ネット  
〔クズ専用除草剤〕 ザイトロン・ザイトロンフレノック・ケイピンエース  
〔樹幹注入剤〕 マッケンジー注入剤

（お問い合わせ申し込みは県森連・森林組合へ）

販売元：日植アグリ株式会社  
TEL：086-292-5525

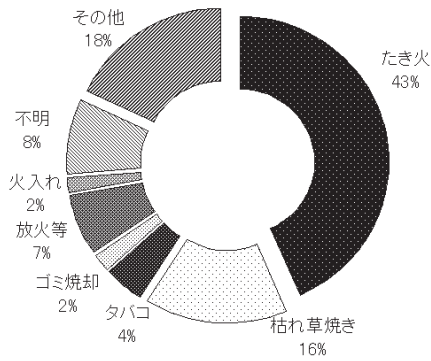
大同商事(株)大阪営業所  
TEL：06-6231-2819

### 3月は山火事予防月間です

春先は、空気が乾燥し、風の強い日も多くなることから、山火事が非常に起こりやすくなります。

県では3月を「山火事予防運動月間」と定めて、県民の山火事予防意識の啓発を図っています。

県内では、過去五年間に251件の山火事が発生し、85畝の緑が失われています。その原因は、たき火の不始末、枯れ草焼きといった人の不注意によるものがほとんどです。



ひとたび山火事が発生すると、一瞬で大切な森林が失われてしま

います。

今年の統一標語は「火の用心森から聞こえる ありがとう」です。山火事を防ぐ6つのポイントに注意して、大切な森林をみんなを守り、未来へと引き継ぎましょう。



- ※山火事を防ぐ6つのポイント
- 強風・乾燥時はたき火をしない
- たき火の後始末は完全に
- 枯れ草焼きやあぜ焼きなどは一人ではない
- タバコの投げ捨てはしない
- 子供の火遊びはダメ
- 火入れをするときは許可を受けよう

(治山課造林班)

### 平成28年度 農山漁村女性・シニア活動表彰式

平成29年3月7日に、東京大学安田講堂にて農山漁村男女共同参画推進協議会主催の優良活動表彰の授賞式が開催され、農山漁村女性・シニア活動表彰(女性地域社会参画分門)において、新見市神郷の山口紀久子氏が優秀賞(林野庁長官賞)を受賞されました。

昨年度は真庭市富原婦人林研クラブが優秀賞(林野庁長官賞)を受賞されており、岡山県からは二年連続の受賞となりました。



(林政課普及指導班)

**CT-500B** GP-532  
小型ハイパワープロセッサ

**IWAFUJI**  
INDUSTRIAL CO., LTD.

**YAMABIKO**

shindaiwa

高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う

**美津吉商事株式会社**

津山市一方 194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255

<http://www.mitsuyoshi.com/>



## 技能講習会の開催(4~6月)

※詳細は申込先にお問い合わせください。

名称	会場	日程	申込・問合せ先
小型移動式クレーン運転	岡山	5月18, 19日	(社)岡山県労働基準協会 TEL (086) 225-3571
	津山	6月6, 7日	
玉掛け	岡山	4月6, 7日・5月6, 7日・ 5月11, 12日・6月8, 9日	岡山支部 TEL (086) 221-2160 倉敷支部 TEL (086) 422-6230
		和気	4月13, 14日 玉野支部 TEL (0863) 21-2349
	笠岡	4月24, 25日 児島支部 TEL (086) 473-1811	
	新見	5月22, 23日 津山支部 TEL (0868) 22-5454	
	津山	5月30, 31日 笠岡支部 TEL (0865) 63-3718	
刈払機取扱作業	津山	4月28日 和気支部 TEL (0869) 92-0876	
	岡山	5月24日 新見支部 TEL (0867) 72-0338	
	新見	6月2日	
	和気	6月27日	
伐木等	津山	6月29, 30日	
移動式クレーン運転士		5月9日	中国四国安全衛生技術センター TEL (084) 954-4661
林業架線作業主任者		6月13日	
はい作業主任者	倉敷	6月7, 8日	陸上貨物運送事業労働災害防止協会 岡山県支部 TEL (086) 234-1332




緑あふれる環境づくり


 株式会社 **山 都 屋**

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号  
TEL (086) 272-2161 FAX (086) 272-2142  
<http://www.yamatoya-net.com>  
大阪営業所 津山営業所 水島営業所

**安心と信頼の証を届けます**




ISO 9001  
JQA-QM8203



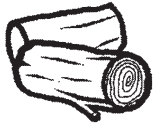
JAB  
GS Accreditation  
R009

創業以来、永年に渡り体育器具・遊具を製作してまいりました。地元メーカーとして責任ある製品作りに取り組み、安心と信頼を皆様にお届けします。

 日本体操協会器械器具検定工場・日本公園施設業協会認定工場

**大久保体育株式会社**

■本社 〒703-8214 岡山市東区鉄409 TEL (086) 279-0585 FAX (086) 279-0460  
■倉敷営業所 〒710-0312 倉敷市藤戸町天城1021-1 TEL (086) 428-7576 FAX (086) 428-6153  
■東京営業所 〒201-0003 東京都江戸市和泉本町1-21-1(201) TEL (03) 5761-9577 FAX (03) 5761-9587



# 林産物市況



木 材 (2月27日)

単位：千円/m<sup>3</sup>

樹種	長さ	径 級	直 材	小 曲 り	樹種	長さ	径 級	直 材	小 曲 り
杉	3m	14～16	12	6.5	檜	3m	14～16	17	14
		18～20	11	6.5			18～20	15	14
		22～28	12	10			22上	14.5	13
	4m	18～22	10	8～		4m	14～18	17.5	14.5
		24～28	10	8～			20～22	15	14
	6m	16～18	15	13			24～28	15	14
松	3m	18～22	10	8	6m	16	30	25	
	4m	18～22	10	8		18～20	30	25	

・出荷材積 約 1,300 m<sup>3</sup>

(共販所より概況)

杉概況：

柱 材 横這い

中目材 横這い

元 木 横這い

松概況：

檜概況：6mは16cm以上の元太りの木で

【3m】

【4m】

柱 材 弱含み 柱 材 横這い

中目材 弱含み 中目材 横這い

元 木 横這い 元 木 横這い

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値。

製 材 (2月)

単位：円

樹 種	寸 法	等級	区分	安値～高値
ス ギ	正角 3m 10.5cm 角	特 等	K	50,000 (直送)～55,000 (市場)
	正角 3m 12cm 角	特 等	K	50,000 (直送)～55,000 (市場)
ヒノキ	正角 3m 10.5cm 角	特 等	K	63,000 (背割有)～65,000 (背割無)
	正角 3m 12cm 角	特 等	K	55,000 (背割有・無)～60,000
マ ツ	平角 4m 10.5～12cm×15～18cm	一 等	K	75,000
米マツ	正角 3m、4m 10.5cm 角	特 等	G	52,000～54,000
	平角 3m、4m 10.5×15～21cm	特 等	G	54,000～
北洋アカマツ	タルキ 4m 3.8cm 角	特 等	K	70,000～75,000
ホワイトウッド	間柱 3m 2.7cm×10.5cm	特 等	K	55,000～

注1：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。

注2：区分のKとは人工乾燥材、Gとは未乾燥材のこと。



皆伐・再造林促進支援事業のご案内

岡山県森林組合連合会



「伐って・使って・植えて・育てる」

～林業経営を応援します～



再造林費については ha 当り上限 10 万円、下刈り費は上限 5 万円を 5 年間助成します。

詳細につきましては、当連合会各支所又は最寄りの森林組合へご相談ください。

(※森林組合の連絡先等は岡山県森林ホームページにあります。)



「緑の募金」ご協力をお願いします

緑の募金でふせごう地球温暖化

募金期間

春のみどりの月間

4月1日～5月31日

秋のみどりの月間

10月1日～10月31日

口座振込は  
こちらへ

ゆうちょ銀行	01270-0-5225
中国銀行岡山駅前支店	1852041
トマト銀行岡山駅前支店	1027972

寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 岡山県緑化推進協会

岡山市北区錦町 1-8 TEL・FAX (086) 221-9511

「もしも」に備えて・・・森林保険があります！

FOREST INSURANCE



森林保険

加入できる森林は？ 人の手が加わった森林  
加入期間は？ 1年単位で何年でも！  
保険金がでるのは？

火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では過去5年間で約6千万円の保険金が支払われました。

ご契約のモデルケース (1ha あたり)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年  
保険期間…5年 保険金額…最大188万円  
一括払いだと 21,225 円 (5年間計)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年  
保険期間…5年 保険金額…最大299万円  
一括払いだと 37,375 円 (5年間計)

1ヶ月あたり  
約 350 円

わずかおむすび  
3個分



1ヶ月あたり  
約 620 円

わずかラーメン  
1杯分



○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。

○条件によって契約金額が変わってきます。


○お申し込み、お問い合わせはお近くの森林組合まで。

平成二十九年三月一日（第四五二号）  
（隔月一日発行）

編集 発行  
〒700-8750 岡山県林政課内 岡山県林業改良普及協会  
岡山市北区内山下二一四一六

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

間伐材利用植生基材マット <b>グリーンフォーマット</b> 〔切土軟岩用〕 	間伐材利用植生マット <b>森樹郎マット</b> 〔切土土砂用〕 	間伐材利用生分解型植生マット <b>森樹郎マット21</b> 〔切土土砂用〕 	間伐材利用生分解型植生シート <b>張りウッド</b> 〔盛土用〕 	間伐材利用植生シート <b>ハリシバモック</b> 〔盛土用〕 
---	---	---	---	--


 「岡山県エコ製品」の認定を受けた5品目  
 間伐材を有効利用した環境緑化資材です。  
 NETIS登録：CB-010046-A 間伐材利用植生マット工法「森樹郎（シンキロウ）マット工法」

太陽と緑の国づくり  
**Nikon 日本植生株式会社**  
<http://www.nihon-shokusei.co.jp/>  
 津山支店 / 津山市高尾 573-1 TEL (0868) 28-0256  
 岡山事務所 / 岡山市北区芳賀 5325 TEL (086) 294-1000



緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助  
 治山・林道の調査、測量、設計、積算  
 森林整備・森林公園の総合計画

一般社団法人 岡山県森林協会

岡山市中区高屋 225-1 TEL 086-271-3711  
 津山市二宮 1849-2 TEL 0868-28-9360



事務局からのお知らせ  
 ◎おかやま森の大使を各種イベントに派遣をしています。

森林・林業に関する各種イベントを盛り上げるためにもぜひお声かけください。  
 また、会員の方からの紙面に対するご意見・ご要望やイベント情報等、身近な話題の投稿をお待ちしております。  
**【問い合わせ・連絡先】**  
 送付先  
 〒700-8507  
 岡山市北区内山下2-4-6  
 （岡山県庁林政課内）  
 岡山県林業改良普及協会  
 電話 086-226-7451  
 FAX 086-221-6498  
 メールアドレス  
 rinsei@pref.okayama.lg.jp  
**【編集後記】**  
 ・東日本大震災が発生してから6年が経過しました。原発事故による放射能の影響は想像以上に甚大なもので、改めて原発の恐ろしさを感じています。  
 ・近年、森林・林業・木材産業が非常に注目されていますが、それに関わるすべての人々がその恩恵を平等に享受できる世の中になればと思っています。  
 (M)